



氷点下の気温と降雪に 備える



氷点下の気温や降雪の可能性を知るために天気予報をご覧ください。ここに示されたガイドラインは、凍結や雪に備えての準備に役立ちます。

個人の備え

- この「Take Winter By Storm」チェックリストを利用して、緊急用キットを準備します。これにはラジオ、懐中電灯、予備の電池、救急箱、緊急連絡先情報、水、保存可能な食物を含めます。詳細なリストは、TakeWinterByStorm.org をご覧ください。
- 自宅、職場や車の中に、緊急時に熱の損失を最小限に抑えるための防寒服や予備の毛布を用意しておきます。
- 携帯用のヒーターは、家具、カーテンその他の可燃物から離れた場所に置きます。

寒冷/氷点下の天候に備えた住宅のメンテナンス

寒波が到来する前に...

- 自宅の床下空間や屋根裏の配管を断熱保護します。これらの露出配管は、最も凍結の可能性が高いためです。断熱性を高めるほど、配管がより一層保護されることを忘れないでください。
- 凍結防止テープや温度調節熱ケーブルなどを使って配管を覆うこともできます。必ずUL(アンダーライターズ・ラボラトリーズ・インク)などの独立検査組織が認定した製品を、目的の用途に応じて(屋外用または室内用)使用するようにしてください。製造メーカーの取付け・操作説明書に正しく従ってください。
- 配管付近の冷たい空気の流入を招く空気漏れを塞いでください。電気配線、乾燥機排気口、配管周辺の空気漏れを探してください。コーキング材や断熱材を使用して、冷たい空気の流入を防ぎ、熱を保つようにします。厳しい寒さの場合、わずかな隙間から入り込む寒気でも配管の凍結を招く場合があります。
- 屋外の配管や蛇口を覆って、凍結を防ぎます。
- 庭用のホースは取り外し、できれば屋内のバルブを閉め、屋外の蛇口への給水管から水を抜きます。こうすると、住宅のすぐ室内側の短い配管が凍結する可能性が少なくなります。

温度計が下がったら...

- 配管の凍結を防ぐのに、温水と冷水を滴らせるだけで十分な場合もあります。できれば外壁に面した蛇口から、一晩中温水を滴らせてたままにします。
- 戸棚のドアを開いたままにして、流しや外壁付近の電化製品の下に露出配管に熱が行き渡るようにします。
- 歩道の雪や氷を塩、解氷剤や雪かきシャベルで取り除き、あなたの所有地内で負傷が起きないようにします。
- 崩れる恐れのある積雪が路面にないようにします。

旅行で家を空ける前に...

- 家のサーモスタットは55°F (12°C) 以上に設定してください。
- 友人や隣人にあなたの住まいを毎日チェックしてもらい、家が十分暖かく、凍結しないよう確認してもらいます。
- 水道は止めて、給水管の水を抜きます。家に防火用スプリンクラーシステムを取り付けている場合、水道栓を止めると動作しないことにご注意ください。

氷点下の気温や雪が到来したら、まず自己の安全を第一にしてください。そして家族、友人、隣人が大丈夫か確認します。